



お気軽にお立ち寄りください。

娘夫婦が愛知の瀬戸でプロの陶芸家をしているのですが、作品ができるまで愛知から送ってくれるんですよ。全国各地で作品の展示会も開催していますが、新潟ではここでしか買うことができません。

茂野(密)：こちらは私が

描いたものではなく、私宛に全国の方々から送られてきた絵手紙なんです。絵手紙は、花や野菜など、身近にあるものを絵に描いて、相手に最も伝えたい気持ちを短い言葉で添えた手紙です。上手、下手よりも、自分らしさが手紙の中に出ていくかどうか大切なんです。

茂野(密)：いいえ、始めたのはこのお店を立ち上げる時です。「自分に来る事は何だろう」と考えたら、昔、油絵を描いていたことがあったので絵手紙にたどり着きました。私自身が東京まで絵手紙を学びに通って得た知識や技術を生徒さん達に伝えていま

す。



加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!



今回の AKINDO

インテリア工房 たくみ

茂野壮一さん・密子さん

夫婦円満の秘訣：二人で旅に行くこと

今回は、温かみのある手作りの家具や焼き物等を取り扱ったインテリア工房「たくみ」のご主人茂野壮一さんと奥様の密子さんにお話しを聞きました。

— 色んな商品があつてワクワクしますね。

こちらのお店はいつから始められたのですか？

茂野(密)：平成12年に主人と長男の3人でオープンしました。最初は、商品もそれほど多くなかったのですが、少しずつ増やしていきました。お店を知っていたいただくために演奏家の方々を呼んでサロンコンサートを行ったりもしたんですよ。

主に取り扱っているのは、主人が作る木の家具や娘夫婦が作る手焼きの焼き物です。主人は、桐のタンスから洋家具まで何でも作れるのでん



土蔵の扉を加工したテーブル

おかげさまで絵手紙展は今年で16回目になります。回を重ねるごとにお客様の数も増えて、今では各地から多くの方々が来てくださるようになりました。

— ファンが多いんですね。今後は、どのようなお店にしたいですか？

茂野(壮)：常々、商売は「他所から人を呼び込むための魅力づくり」が大切だと考えています。焼き物に関しては県内どこにも扱っていない商品ですし、県下一と呼ばれるお店にしたいですね。



マグカップ展 開催中 ~7/31迄

な注文にもお応えできますよ。お店の飾り棚も全て手作りですし、実は、このテーブルも土蔵の扉を加工して作ったもの。テーブルの足も作ったら、お客さんが気に入って足だけ買っていきました(笑)

— オーダーメイドの家具なんてうらやましいです！この鮮やかなグリーン色の器も手焼きですか？

茂野(壮)：そうなんです。

桐・家具・手焼きの器の店 インテリア工房 たくみ

住所：加茂市新栄町5-6
TEL：0256(52)5525
FAX：0256(52)5257
営業：9時~18時
定休日：年中無休



茂野さんありがとうございました。